

たきいNOWは、地域の皆様に総合医療センターの「いま」をお伝えし、当院が提供する医療へのご理解を深めていただくことを主旨として発行しております。

- “今しかできない” 災害訓練を実施
- 院内アメニティサービスのご案内
- 市民健康講座を開催
- 新任部長・センター長のご挨拶
- 院内処方・調剤について

No.18

解体中の日本館を使用した”今しかできない” 災害訓練を実施

平成29年2月2日(木)、解体中の日本館を活用して、全国的にも珍しい、倒壊した建物から多数のけが人を救出する災害訓練を実施しました。

訓練当日は、守口市門真市消防組合の消防隊員や、当院と大阪府立急性期・総合医療センターの災害派遣医療チーム「DMAT」ら約120人が参加。

訓練は、建物が倒壊して火災も同時発生し、けがをした要救助者が多数取り残されたとの想定で、また、消防隊員達に負傷者の数や位置、けがの程度、救出経路などを事前に知らせない「ブラインド方式」での訓練となり、実際の災害現場と同じような状況が作り出されました。進入経路を探索・確

保してからレスキュー隊員が現場に到着。周辺からは「助けて!」「足が痛い」「怖い! 1人にしないで!」など被災者の悲痛な叫び声が聞こえてくる中、要救助者の人数・けがの程度などを迅速かつ的確に掴んでいき、建物内に閉じ込められた被災者の救出では、必要に応じてブリーチング(倒壊した建物などでの救援活動の際、壁や床などを壊し、進入・救出に必要な開口部をつくる技術)を行い要救助者を救助。また、その穴をDMATの医師らが通り抜けて、けがの重症度で治療の優先順位を決めるトリアージの上、手当を行うなど、人命を守るには1分1秒もおろそかにできない非常に緊迫感のある訓練となりました。



トリアージ中の消防隊員



消防隊員による救出活動



消防隊員とDMATが連携しての活動

院内アメニティサービスのご案内



① 会計（支払い窓口）

診察の会計計算後、「会計窓口」または「自動精算機」にて、本日の会計を精算してください。



② 自動精算機



③ 給水機・タクシー電話・
駐車券事前精算機

北玄関すぐの給水機では、水またはお湯を無料でお飲みいただけます。



④ お呼出状況確認サービス

受付表のバーコードで、お呼出状況が確認できるサービスです。



⑤ 授乳室



⑥ 自動販売機



⑦ 総合案内



⑧ 再診受付機



⑨ 患者総合相談窓口



2F カフェ&レストランめぐみ

モーニングセット、ランチメニュー、デザート・カフェなど、豊富なメニューを取り揃うカフェ&レストラン「めぐみ」。診察の待ち時間や、診察終了後などご家族やお見舞いの方と一緒に食事や喫茶で憩いのひと時を楽しめます。

営業時間 平日 8:00 ~ 16:00
土曜 9:00 ~ 14:00

休業日 第2・4土曜日、日曜日、祝日



⑩ レストラン



⑫ コンビニ



⑬ ATM

B1F コンビニエンスストア

営業時間 平日 7:00 ~ 23:00 土日祝 7:00 ~ 21:00

取扱商品 おにぎり・お弁当等一般商品、セブンカフェ、ドーナツ、セブン銀行 ATM、公共料金受付、マルチコピー機 医療商材 (オムツ、サプリメント、検査食等)

南館 1F 美容室 edu.



病院本館より徒歩30秒の南館1Fにある美容室です。美容室のメニューをはじめ、医療用ウィッグはもちろん、おしゃれ用のウィッグまで、幅広く対応しています。また、医療用帽子の販売も行っております。

営業時間 9:00 ~ 17:00

休業日 第2・4土曜日、日曜日、祝日の月曜日

メニュー (税込価格)

ドライカット (シャンプー無し)	3,450 円
出張カット	3,450 円
術前カット	1,620 円

※その他のメニューもあります。

※車椅子のままカットできます。

※病室へのお出張サービスも行っています。(予約制)



本館正面玄関から30秒！南館1階入り口すぐ

edu. 入口

第19回 関西医科大学総合医療センター市民健康講座開催

平成29年2月19日(土)午後2時から守口文化センター・エナジーホールにおいて、「がんを知ろう!! ～がんの予防から治療まで～」をテーマに、市民ら約120人にご参加いただき開催いたしました。がん治療・緩和ケアセンター長(血液腫瘍内科 部長)の石井一慶教授が座長を務め、下記の講演が行われ、参加者は熱心に聴き入っておられました。各演題後に質問コーナーをもうけ、さまざまな質問が寄せられました。



講演 ① **がんって何? ~今日からできるがん予防~**
看護部 がん化学療法看護認定看護師 荒堀 広美

講演 ② **がんの早期発見について~PET CTを中心に~**
PETセンター長 (放射線科部長) 宇都宮 啓太 教授

講演 ③ **わたしが決めるがん治療 ~医療情報の活用の仕方を含めて~**
呼吸器外科部長 金田 浩由紀 准教授



当日の講演動画①・②はこちら↑

神経内科部長新任のご挨拶



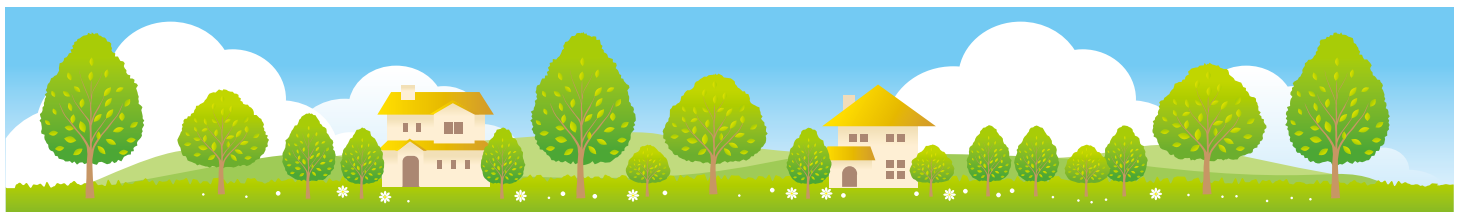
神経内科部長
近藤 誉之 教授

略 歴

昭和62年3月	京都大学医学部卒業
平成元年6月	和歌山赤十字病院第二内科・神経内科医師
平成2年7月	医仁会武田総合病院神経内科医師
平成7年4月	国立精神神経センター神経研究所第6部ヒューマンサイエンス財団外来研究員
平成9年10月	アメリカ国立衛生研究所 (NIH) 国立神経疾患・脳卒中研究 (NINDS) Neuroimmunology Branch, National multiple sclerosis society postdoctoral fellow
平成11年12月	国立精神神経センター神経研究所免疫研究部室長
平成13年12月	福井赤十字病院神経内科代表部長
平成16年9月	国立病院機構長崎神経医療センター臨床研究部長
平成21年4月	田附興風会医学研究所北野病院神経内科副部長
平成23年4月	康生会武田病院神経血管センター神経免疫センター長
平成25年1月	京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部准教授
平成28年10月	関西医科大学総合医療センター神経内科診療教授 関西医科大学総合医療センター神経内科部長

平成28年10月1日より神経内科部長を拝命いたしました。私は京都大学を卒業後、地域の基幹病院や神経難病診療に重点を置く国立病院機構の病院、大学病院などに神経内科医として勤務して参りました。様々な機能を持った施設での臨床経験を生かして、頭痛、めまい、しびれなどの日常的愁訴から神経難病まで幅広い症状、疾患をカバーした診療を行います。頭痛、めまいに関しては命に関わる疾患を見逃さないことはもちろんですが、大多数の心配のない症状に対しても、患者さん、ご家族に納得していただけるように丁寧な診療、丁寧な説明を心がけます。また、この地域では、パーキンソン関連疾患、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などの神経難病を診る医療機関が不足しておりました。大学病院としての高い専門性を基盤とした適切な診断、治療をおこなうことが何よりも重要です。そのうえで、地域の関連施設と連携をして神経難病患者がよりよく生活するためのサポートができればと思っています。また地域に役立つ神経内科として認められる存在に早くなれればと思っています。

私が専門にしてきました多発性硬化症などの神経免疫疾患に対しては国内の最高水準の施設として全国からも頼りにされる診療施設を目指していきます。脳血管障害に関しましては、当院では脳神経外科と救急科の対応になっています。ご理解いただければ幸いです。皆様のお力になれるように努めていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



人工関節センター長新任のご挨拶



人工関節センター
センター長
飯田 寛和 教授

関西医科大学整形外科主任教授として17年間勤め定年を迎えましたが、理事長特命教授として総合医療センター人工関節センターの再スタートを命じられました。

今まで約3500例の人工股関節と約350例の再置換術を行ってきた経験を踏まえ、通常の初回人工関節のみならず、高度変形、人工関節の弛み、脱臼、感染等の合併症の救済、糖尿病や透析等全身合併症などで通常困難と思われる方も全て受け入れたいと考えております。長年の経験と過去のデータの蓄積から安心していただける治療を提供させて頂けるかと思っており、当センターがこの分野の真のセンターになるよう努力いたします。

外傷センター長新任のご挨拶



外傷センター
センター長
齊藤 福樹 准教授

関西医科大学総合医療センターは、昭和54年（1974年）に救命救急センターが開設され、平成5年（1993年）には、西日本で初めて高度救命センターが設置された歴史ある病院であります。従来より救命センターを中心として積極的に重症外傷患者を受け入れてきましたが、このたびしばらく途絶えていた指肢切断を含めた治療を行う体制が整いました。

当外傷センターでは、救急医学科・整形外科・形成外科が中心となり、四肢骨盤・脊椎外傷、切断指肢・顔面外傷を初期診療から手術、リハビリテーションに至るまでを一貫して行っています。

また、当院の初療室には、昨年よりHybrid ERを導入し、従来からの外傷初期診療を変えようとしています。ここではHybrid ERを核とした迅速な初期診療に引き続き、我々外傷センタースタッフが適切なタイミングで適切な治療介入を行い、後々の機能障害をきたさないように日々努力を行っております。

不整脈治療センター長新任のご挨拶



不整脈治療センター
センター長
高木 雅彦 教授

略 歴

平成元年3月	大阪市立大学医学部卒業
平成元年6月	大阪市立大学医学部附属病院 循環器内科医師
平成7年4月	芦原病院(現:浪速生野病院)内科医員
平成8年4月	大阪市立大学医学部附属病院 循環器内科医師
平成10年5月	国立循環器病センター専門修練医
平成12年5月	大阪市立大学医学部附属病院 循環器内科医師
平成15年1月	大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学 病院講師
平成15年7月	大阪市立大学大学院医学研究科循環器内科学助手
平成18年10月	大阪市立大学大学院医学研究科循環器内科学講師
平成19年2月	関西医科大学 非常勤講師
平成26年4月	大阪市立大学医学部附属病院 心血管疾患集中治療部 副部長
平成27年7月	大阪市立大学大学院医学研究科循環器内科学 准教授
平成29年4月	関西医科大学内科学第二講座不整脈担当 診療教授 関西医科大学総合医療センター 不整脈治療センター長

平成29年4月1日付けで総合医療センター不整脈治療センター長を拝命しました。私は20年間、国立循環器病センター、大阪市立大学において不整脈診療に従事し、大阪市立大学においては不整脈治療グループを立ち上げてまいりました。このような経験を生かして、最先端、最善の不整脈治療を患者さんに提供することを目指して、地域医療・医学の発展に貢献できるよう尽力いたします。

不整脈治療はいまだに進化し、発展しています。今までは治らなかった不整脈がカテーテル治療やペースメーカーや除細動器などの植え込み型機器により治療可能になってきています。この地域では不整脈を専門的に診る医療機関が不足しておりました。大学病院としての高い専門性を基盤として適切な診断・治療を行うことが何よりも重要です。一人でも多くの不整脈で困っている患者さんに何らかの解決策を見いだせるよう、患者さんとお話し、当センターのスタッフとともに治療のために最新の技術を提供できるように精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



院内処方・調剤について

当院では、患者さんの負担を少しでも軽減したいという思いから、院内処方を実施しています。

院内処方の 主なメリット

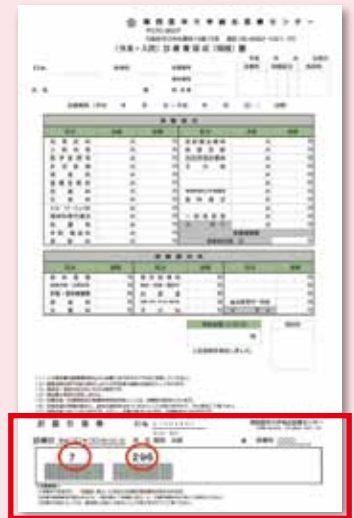
- 診療とお薬の受け取りが病院内で済ませられ、お支払も1回の会計で終了し、ほとんどの場合、お支払合計の負担金額が少なくなります。
- 薬の内容について、薬剤師の目からみて疑問があれば、カルテで確認したり、医師に直接問い合わせをしたうえで調剤を行いますので、安心して薬を服用していただけます。

「お薬引換券」のご案内

～病院内でお薬を受け取られる方へ～



病院でお薬を受け取られる患者さんには、「お薬引換券」をお渡しするようになっています。これは、例えば、同姓同名の患者さんがいらっしゃるような場合などに、間違いのないようにお薬をお渡すためです。「お薬引換券」は「診療費領収(明細)書」の最下部にあります。受診された診療科につき1枚となります。同じ「お薬引換券」に引換券番号が2つ以上印字されている場合もあります。お受け取りの際にはご確認ください。2診療科以上に受診され、それぞれお薬がある場合は、診療科ごとに別々の「お薬引換券」が発行されます。診療費の支払いのない方の場合でも、手続きを済ませていただかないと、「お薬引換券」は発行されません。お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。



理 念

慈仁(めぐみ)を心の鏡とした患者さん本位の病院

基本方針

1. 地域における基幹病院として、急性期医療に取り組めます。
2. 患者さんの権利を尊重し、安全かつ根拠に基づいた高度な医療を提供します。
3. 断らない救急医療を実践し、かつ災害拠点病院として地域医療に貢献します。
4. リエゾン医療、チーム医療を推進し、心の通った医療を提供します。
5. 地域の行政・医療機関との連携を図り、住民の保健・福祉の向上に努めます。
6. 医の倫理を基調とし、有能かつ心ある医療人を育成します。
7. 日々の診療に根ざした研究を行い、臨床医学に貢献します。

患者さんの権利

1. 人格的に尊重され、思いやりのある丁寧な医療を受ける権利
2. プライバシーが尊重される権利
3. 安全に配慮した医療を受ける権利
4. 医師・医療者から十分な説明を得る権利、そして自分の選択に基づく医療を受ける権利
5. 医療に関する疑問点や不満を尋ねたり相談する権利
6. 医療等の記録を閲覧する権利、また他の医療機関の医師の意見を聞く権利
7. 快適性に配慮した環境で医療を受ける権利
8. 医療費明細の報告、及び医療費と福祉の公的援助に関する情報を受ける権利



関西医科大学総合医療センター
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY MEDICAL CENTER